

所長挨拶 学校・教職員のニーズに応えるセンターとして

令和4年5月1日付け人事異動により、京都府総合教育センター所長に着任いたしました。

本センターは、教職員のニーズに応え、教育活動や子ども達の学びを支援することを目指しております。その取組の1つに働き方改革の一環として、研修形態を見直し、研修講座の約30%をWeb活用した形態といたしました。研修講座が教職員にとってより身近で、専門性を磨く「学び」多き存在になるようにと考えております。

ぜひセンターを積極的に御活用いただき、日々の教育実践に生かしていただければ幸いです。これからも各学校・教職員の支えとなるよう、様々な事業に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

京都府総合教育センター所長 **山本 真也**

7・8月講座

PICK UP

申込期間

小・中・義務教育学校 5/23(月)～6/1(水)
府立学校 5/23(月)～6/6(月)

406



小学校家庭科講座

～わかる授業づくりのためのICT活用～

8月25日(木) 京都府総合教育センター北部研修所
講師：兵庫教育大学大学院 教授 永田 智子

NHK高校講座「家庭総合」の監修・出演をされている永田先生が講師です！家庭科における効果的なICT活用について、講義と実践発表から学びます。

指標の対応：学習指導【ステージ2（中堅期）】

407



小中外国語教育講座

～思いを伝える授業づくり～

8月4日(木) 京都府総合教育センター
講師：関西大学 教授 竹内 理

小・中学校の外国語教育での「言語活動を通じた」授業を行う中で、悩んだり、困ったりしていることはありませんか。竹内先生から学び、「解決の糸口」を共にみつけましょう。

指標の対応：学習指導【ステージ2（中堅期）】

502



人権教育講座Ⅰ

～外国にルーツをもつ子どもへの支援～

8月9日(火) 京都府総合教育センター
講師：京都教育大学 教授 浜田 麻里

小・中学校の先生による人権学習の実践発表から、人権学習資料の効果的な活用法を考えます。また、外国にルーツをもつ児童生徒の現状を知り、具体的な支援の在り方を学びます。

指標の対応：人権【ステージ2（中堅期）】

519



「今を生きる子どものこころ」講座

～自分を傷つけてしまう子どもたちへ自傷、自殺を考える～

8月17日(水) オンライン研修のため各所属校(園)
講師：国立精神・神経医療研究センター 薬物依存研究部長 松本 俊彦

本講座では、今の時代を生きる子どものこころに焦点を当てた内容を取り上げます。今回は自傷と自殺について、その行為に至る背景や心情を理解し、対応について学びます。

指標の対応：生徒指導【ステージ2（中堅期）】

526



特別支援教育コーディネーター養成講座 【実践】

8月30日(火) 京都府総合教育センター北部研修所
講師：神戸親和女子大学 准教授 武富 博文

児童生徒の気になる行動を具体的にイメージしながら、その行動をいかに理解し、校内の共通理解と支援体制を構築し支援するか等について、講義や演習等を通して学びます。

指標の対応：チーム学校【ステージ2（中堅期）】

707



ファシリテーション講座

～会議運営に生かす～（企業連携）

7月25日(月) 京都府総合教育センター
講師：一般社団法人日本青少年育成協会 主席研究員 大村 伸介

本講座は、短時間で質の高い会議運営を実現することを目標としています。「明日から業務で活用する」ために、知識の習得だけでなく、演習を中心とした実践的な研修を行います。

指標の対応：マネジメント【ステージ2（中堅期）】

学びの直送便



初任者・新規採用者研修共通 「初任期スタート」講座a・b

研修内容

- 人権教育の基本的な視点
- 特別支援教育の基本的な視点
- 校種及び職種別研修

受講者の感想

「全ての教職員が特別支援教育の担い手である」という意識を強くもって職務に臨みたいですね。受け持つ学級にも特別な支援を必要とする児童が在籍しているので、ICT活用等様々な方法を検討し、本質を変えることなく学びを進めて行くことができるように考えていきたいです。(小学校)

京都府の教育の視点や教職員の役割として「人権教育」及び「特別支援教育」について、基本的な考え方を学んだり、校種や職種に分かれ、職務や教育活動・教育課程の在り方などについても学んだりする講義を行いました。全ての子どもが「包み込まれているという感覚」を実感できるよう、学び続ける姿勢をもって職務に臨んでほしいと思います。

研修の様子



「キャリア教育『ここ』が知りたい」を新設しました!

出前講座「D52：キャリア教育推進講座」では、将来展望を描き、その達成に向けて主体的に学び生きる児童生徒を育むキャリア教育の着眼点や実践事例等について紹介しています。

今年度は、各校の状況に応じて選択していただけるように、テーマを細分化した「キャリア教育『ここ』が知りたい」（4種：必要性と意義／全体計画・年間指導計画の作成、校内組織／進め方、新学習指導要領における実践／評価、連携の推進）を新設しました。

「年間指導計画の作成」では、教科横断的に各教育活動をつなぐ際の着眼点等、「評価」では、「誰が」「何を」「どのように」等、概論では触れることができない、一歩踏み込んだ内容を紹介しています。

詳細につきましては、右の二次元コードからITECにアクセスしてください。



連載「研究最前線」 教育相談部①

「折れない、しなやかな心」を育てるために



教育相談部では、平成30年度から令和3年度までの4年間、「自己肯定感をもち、心が折れても立ち直ることができる児童生徒を育てるために教職員がどう関わればよいか」ということを柱として研究を続けてきました。平成30年度からの研究では、子どもの自己肯定感に対する意識や実感についてアンケート調査を行い、教職員が大切にしている関わりについて研究しました。

令和3年度には大学生を対象に、学校教育における教職員の関わりについてのアンケート調査を行い、子ども側からの声としてレジリエンスを育む教職員の関わりについて研究してきました。

今回の研究の成果をまとめたリーフレットを府内全学校に配布するとともに、ITECからもダウンロードできるようにしました。日々子どもたちと関わる際の参考になればと思っています。ぜひ、御一読ください。

詳細は、ITECの教育相談内の研究・研修コンテンツ
「折れない、しなやかな心を育てるために」を御覧ください。
右の二次元コードからアクセスしてください。

